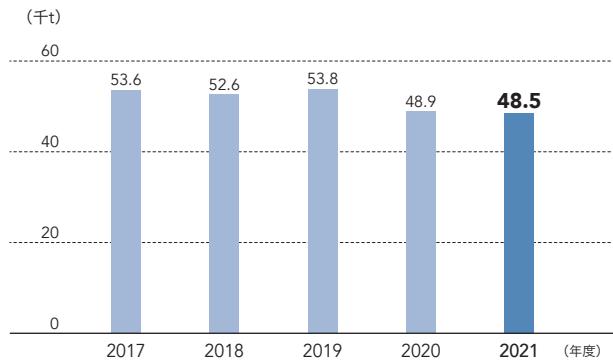


温室効果ガス排出量の推移

(四日市、大潟、滋賀、管理部門、関係会社、非エネルギー由来)

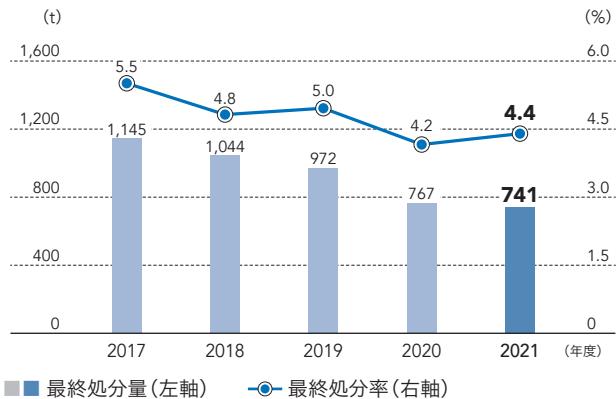


※ 管理部門には、社有車の燃料を含む。

※ 関係会社には、四日市合成、京都エレックス、第一セラモを含み、2019年度以降はそれに加えて池田薬草を含む。

最終処分量・最終処分率の推移

(四日市、大潟、滋賀、京都、関係会社)



■ 最終処分量 (左軸) ● 最終処分率 (右軸)

※ 最終処分率：廃棄物発生量に対する最終処分量の比率

※ 関係会社には、四日市合成、京都エレックス、第一セラモを含み、2019年度以降はそれに加えて池田薬草を含む。

環境目標と2021年度の実績

評価 ◎：大きな効果 ○：目標に沿った成果 △：目標未達成 ×：大幅に未達成

取り組み項目	基準年	2021年度目標	中期環境目標 (2024年度)	GX戦略目標 (2030年度)	対象範囲	2021年度実績	評価
温室効果ガス排出量 ^{※1}	FY2013	3%削減	12%削減	30%削減	グループ	6.7%削減	○
エネルギー原単位 ^{※2} ※省エネ法届出基準	FY2020	1%削減	4%削減	10%削減	個別	8.4%削減	○
					グループ	9.1%削減	○
廃棄物発生量原単位 ※対生産量	FY2020	1%削減	4%削減	10%削減	グループ	18.4%削減	○
廃棄物最終処分率 ^{※3}	—	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	個別	0.1%	○
	—	3.8%以下	0.5%以下	0.1%以下	グループ	4.4%	×

取り組み項目	管理項目	2021年度目標	2021年度実績	評価	2022年度目標
環境負荷物質の排出削減	SOx排出量	大気への環境汚染物質の排出削減	前年度比 15.2%削減	○	大気への環境汚染物質の排出削減
	NOx排出量		前年度比 24.0%削減	○	
	ばいじん排出量		前年度比 70.7%削減	○	
	排水量	水域への環境汚染物質の排出削減	前年度比 0.8%削減	○	水域への環境汚染物質の排出削減
	COD排出量		前年度比 64.7%増加	×	
化学物質の適正管理	PRTR制度対象化学物質排出量	PRTR制度対象化学物質の排出削減	前年度比 54.0%削減	○	PRTR制度 対象化学物質の排出削減
グリーン購入の推進		紙類・文具類のグリーン購入比率の向上	64.8%で前年度から 5.8ポイント改善	○	紙類・文具類のグリーン購入比率の向上
災害事故の撲滅		環境関連の事故のゼロ化	事故ゼロ	○	環境関連の事故のゼロ化
		環境法令遵守	法令違反なし	○	環境法令遵守
環境マネジメントシステム		環境マネジメントシステムの推進	維持	○	環境マネジメントシステムの推進

※1 生産部門および管理部門のエネルギー由来

※2 省エネ法の定期報告書の算出方法に基づく

※3 廃棄物発生量に対する最終処分量の比率

▶ エネルギー、廃棄物、環境負荷物質、PRTR制度対象化学物質の詳細なデータは、環境データ(P.79、80)を参照